

卓球の思い出

山谷 侑大さん (二ツ井町飛根)



このコーナーは、市民の皆さんをリレー方式で紹介합니다。

私が卓球を始めたのは中学校1年生の時です。それまでは野球を小学校6年間続けていましたが、新しい分野に挑戦したいという気持ちと個人競技を始めてみたいと思い、部活動見学で奥深さにひかれ卓球部に入学しました。

一緒に入学した個性豊かな8人のチームメイトをはじめ、先輩方や後輩たちとともに3年間厳しい練習にひたすら打ち込みました。3年の春にはたくさんの方々に支えられ、全県大会に出場することができました。全県大会では良い結果を残すことはできませんでしたが、仲間たちとともに全県に行けたことは今でも良い思い出です。高校は能代工業に進学し、高校でも卓球を3年間続けました。個人競技だけでなく団体戦もある卓球で学んだことは、仕事や日々の生活の中にも確実に生きていっていると思います。

高校を卒業し今は地元能代で就職しました。今後は能代の卓球の活動に積極的に参加し、能代のスポーツを盛り上げ、卓球の面白さを一人でも多くの人に知っていただけたらいいと思います。

※次回は、金子蓮さん(二ツ井町飛根)にタッチします。

相談窓口をご利用ください

●内職などの相談・雇用相談

曜日 月～金曜日
時間 午前8時30分～午後5時15分
場所 市役所新庁舎 商工港湾課窓口
問合せ ☎89-2186

読んでみて!

わたしの
押し本

秋田県立能代工業高等学校
3年 嶋田 偉月 さん
「100万回生きたねこ」

大人も楽しめる
絵本の名作だわ



著 : 佐野 洋子

出版年: 1977年
出版者: 講談社

市立図書館 所蔵あり

100万回生きたねこ



この本は子どもが楽しめるのはもちろんのこと、大人が読んでも面白く、深く考えることができる本です。登場するのはタイトルの通り、100万回死に、100万回生きたねこです。ねこのそれぞれの一生にはすべて物語があり、その一つひとつに読者が想像力を膨らませることのできる一冊になっています。

●ここがおすすめ!

死ぬのも平気だったねこの生き方を大きく変貌させる白いねこの出会いは、100万回生きたねこの感情を揺さぶるものになっています。

メッセージ from...

学校教育課の川面諒羽です。スクールバスの運行管理業務を主に担当しています。学校教育課では一人で劇団でも行っているのではないかとと思うくらいあつたした日々を過ごしています。

今年度から統合に伴い向能代小学校でスクールバスを運行しており、開始から早くも6ヶ月が経ちました。毎朝早くから夕方遅くまで児童生徒の送迎を行い、学校教育を支えてくださる運転手のみなさんには感謝の気持ちでいっぱい입니다。これからも、運転手のみなさんと力を合わせて日々の業務に臨みたいと思います。

問合せ 学校教育課

☎73・5281



問合せ 生涯学習・スポーツ振興課 ☎73-5285